

令和6年度（令和5年度事業）佐賀市教育委員会活動状況点検シート

1 教育委員会の活動状況

（1）教育委員会の会議運営の状況

① 教育委員会会議運営の充実

令和5年度の目標	教育委員会会議について、定例会や臨時会とともに、必要に応じて事前に研修会を開催し、様々な教育課題の解決に向けて効率的な会議運営に努める。また、事業の成果や結果についても、事務局からの報告等により検証を行う。																																												
令和5年度に取り組む改善策	研修会・勉強会を充実させることで、市の教育課題に対する自己意見の形成を図り、会議での十分な質疑や的確な問題提起につなげる。併せて、研修会の議題を教育委員が発案するなど、活発な議論を通じて、会議の質を向上させ、所管する施策のPDCAサイクルを機能させる。																																												
令和5年度の実績	事務局から事前に資料提供を受け、各委員が十分に内容を把握した上で会議に臨んだ。会議では、活発な意見交換を行い、議案等の審議においても、必要な指摘や質疑を行うとともに、委員からも研修会の議題提案を行った。 教育委員会での十分な質疑や的確な問題提起につなげた。 ◇教育委員会会議の開催回数 単位：回 <table><tr><td>区 分</td><td>令和4年度</td><td>令和5年度</td><td>増 減</td></tr><tr><td>定例会</td><td>12</td><td>12</td><td>—</td></tr><tr><td>臨時会</td><td>3</td><td>5</td><td>2</td></tr><tr><td>研修会</td><td>15</td><td>13</td><td>▲2</td></tr></table> ◇定例会・臨時会の議案等の件数 単位：件 <table><tr><td>区 分</td><td>令和4年度</td><td>令和5年度</td><td>増 減</td></tr><tr><td>議 案</td><td>31</td><td>40</td><td>9</td></tr><tr><td>協議、報告等</td><td>10</td><td>12</td><td>2</td></tr></table> ・臨時会は、予算議案、人事異動案の承認などを実施 ◇研修会の議題等の件数 単位：件 <table><tr><td>区 分</td><td>令和4年度</td><td>令和5年度</td><td>増 減</td></tr><tr><td>議 題</td><td>21</td><td>25</td><td>4</td></tr><tr><td>報告等</td><td>8</td><td>5</td><td>▲3</td></tr><tr><td>案件中の委員提案</td><td>1</td><td>2</td><td>1</td></tr></table>	区 分	令和4年度	令和5年度	増 減	定例会	12	12	—	臨時会	3	5	2	研修会	15	13	▲2	区 分	令和4年度	令和5年度	増 減	議 案	31	40	9	協議、報告等	10	12	2	区 分	令和4年度	令和5年度	増 減	議 題	21	25	4	報告等	8	5	▲3	案件中の委員提案	1	2	1
区 分	令和4年度	令和5年度	増 減																																										
定例会	12	12	—																																										
臨時会	3	5	2																																										
研修会	15	13	▲2																																										
区 分	令和4年度	令和5年度	増 減																																										
議 案	31	40	9																																										
協議、報告等	10	12	2																																										
区 分	令和4年度	令和5年度	増 減																																										
議 題	21	25	4																																										
報告等	8	5	▲3																																										
案件中の委員提案	1	2	1																																										

令和6年度に向けた課題と改善点 (自己評価)	○教育委員会会議の活性化につながることを意識して、以下の点に取り組む ○教育委員間で、佐賀市の抱える教育課題についての意識共有を図り、委員提案の研修会議題の発案につなげる必要がある。 ○教育委員勉強会をさらに充実させ、佐賀市が抱えている教育課題に対する自己意見の形成を図ることで、定例教育委員会で適切な質疑や的確な問題提起ができるように努める。 ○教育委員研修会では、教育の新たな動向や市教委の取り組みについて情報を共有し、意見交換を行うと共に、事務局との忌憚のない意見交換ができる場であるから、これを活性化させる。
---------------------------	--

② 教育委員としての役割（レイマン・コントロール）

令和5年度の目標	教育全般の実情を把握し、教育委員自身が認識、知識を深め、問題点等を指摘し、専門家の判断によらない広く住民の意向を反映した教育行政を展開する。
令和5年度に取り組む改善策	教職員、保護者、住民等から話を聞き、教育現場の実情や課題の把握に努めるとともに、教育委員自らが培った経験や知見を生かし、教育課題に関する気づきについて、行政・学校の視点からではなく、客観的な視点から意見を述べる。
令和5年度の実績	教育現場や市民の視点を重視した教育行政を展開するために、会議や研修会において各委員がそれぞれの考えを率直に述べ、協議を行うことができた。
令和6年度に向けた課題と改善点 (自己評価)	○教職員、保護者、地域住民、専門家、子ども・若者などの話を聞き、教育現場の実情や課題の把握に努めるとともに、市民ニーズを的確にくみ取り、教育施策に反映する架け橋としての意識を持つ。 ○教育行政を知り、理解を深めつつも、行政や学校の常識に囚われることなく、自らの日常生活や職業経験等の社会生活で得た知見にもとづき、色々な角度から柔軟に課題を捉えて広い視野を以て、客観的に意見できるように取り組む。

(2) 教育委員会の各種活動の状況

① 市民や教育現場の意見聴取

令和5年度の目標	学校訪問等で学校現場の声を聞いたり、保護者等との意見交換を行うことにより、教育現場の課題等を把握し、多様なニーズを反映した教育行政を推進する。
----------	---

令和５年度に取り組む改善策	可能な限り学校訪問や各種活動に参加するとともに、各種団体との意見交換を通じて、教育現場の実情を把握し、教育課題に対する幅広い視野を得ることにより、教育課題に対して、具体的な改善策を検討し、提案できるように努める。												
令和５年度の実績	◇小中学校を訪問し、授業参観や意見交換を通じて教育現場の実態把握や課題調査に取り組んだ。 ・学校訪問												
	<table><tr><td>区 分</td><td>令和４年度</td><td>令和５年度</td><td>増 減</td></tr><tr><td>訪問学校数</td><td>３６校</td><td>３３校</td><td>▲３校</td></tr><tr><td>訪問教育委員数</td><td>延べ７９人</td><td>延べ７６人</td><td>▲３人</td></tr></table>	区 分	令和４年度	令和５年度	増 減	訪問学校数	３６校	３３校	▲３校	訪問教育委員数	延べ７９人	延べ７６人	▲３人
	区 分	令和４年度	令和５年度	増 減									
	訪問学校数	３６校	３３校	▲３校									
	訪問教育委員数	延べ７９人	延べ７６人	▲３人									
	・えがおわくわく学校訪問												
	<table><tr><td>区 分</td><td>令和４年度</td><td>令和５年度</td><td>増 減</td></tr><tr><td>訪問学校数</td><td>２１校</td><td>１７校</td><td>▲４校</td></tr><tr><td>訪問教育委員数</td><td>延べ３３人</td><td>延べ２１人</td><td>▲１２人</td></tr></table>	区 分	令和４年度	令和５年度	増 減	訪問学校数	２１校	１７校	▲４校	訪問教育委員数	延べ３３人	延べ２１人	▲１２人
	区 分	令和４年度	令和５年度	増 減									
	訪問学校数	２１校	１７校	▲４校									
	訪問教育委員数	延べ３３人	延べ２１人	▲１２人									
◇学校運営協議会に出席し、学校・地域・保護者の協働によるコミュニティ・スクールの活動状況の把握に努めた。													
<table><tr><td>区 分</td><td>令和４年度</td><td>令和５年度</td><td>増 減</td></tr><tr><td>訪問学校数</td><td>１１校</td><td>８校</td><td>▲３校</td></tr><tr><td>訪問教育委員数</td><td>延べ１３人</td><td>延べ８人</td><td>▲５人</td></tr></table>	区 分	令和４年度	令和５年度	増 減	訪問学校数	１１校	８校	▲３校	訪問教育委員数	延べ１３人	延べ８人	▲５人	
区 分	令和４年度	令和５年度	増 減										
訪問学校数	１１校	８校	▲３校										
訪問教育委員数	延べ１３人	延べ８人	▲５人										
※学校運営協議会設置準備・研修会への出席を含む。													
◇ＰＴＡ協議会との研修会を通じて、保護者と学校教育に関する意見交換を行った。 ・開催日：令和５年７月１９日、令和６年１月２５日 ・内 容：情報モラルリーフレットの見直し、教職員の配置体制、部活動地域展開会議報告 など													
◇その他（会議・式典・大会等）〔※教育長含む〕													
<table><tr><td>区 分</td><td>令和４年度</td><td>令和５年度</td><td>増 減</td></tr><tr><td>訪問箇所数</td><td>５８箇所</td><td>６４箇所</td><td>６箇所</td></tr><tr><td>訪問教育委員数</td><td>延べ９６人</td><td>延べ１０６人</td><td>１０人</td></tr></table>	区 分	令和４年度	令和５年度	増 減	訪問箇所数	５８箇所	６４箇所	６箇所	訪問教育委員数	延べ９６人	延べ１０６人	１０人	
区 分	令和４年度	令和５年度	増 減										
訪問箇所数	５８箇所	６４箇所	６箇所										
訪問教育委員数	延べ９６人	延べ１０６人	１０人										
令和６年度に向けた課題と改善点（自己評価）	○前年度より学校訪問数が減っているため、可能な限り学校訪問や意見交換会等に参加し、タイムリーな教育課題への情報収集をできるようにする。 ○学校訪問や各種団体との意見交換は、教育現場の実情、課題を知る上で、とても有用であり、生の現場の声、立場や視点の異なる意見等を傾聴し、教育的課題の発見に努め、その解決に努める。												

② 市長部局や関係機関との連携

令和５年度の目標	教育委員と市長との意見交換、協議等を行う機会を設けるなど、教育課題について市長部局との意思疎通を図り、課題解決に向けて連携・協働して取り組んでいく。				
令和５年度に取り組む改善策	総合教育会議のテーマについて、教育委員同士で十分に協議し、市長との意見交換の内容充実に努める。教育現場の課題を共有し、市長部局や関係機関との横断的な連携を図り、協力関係を築く。				
令和５年度の実績	教育委員と市長が率直な意見交換を行い、より一層の意思疎通を図ることができた。 ◇総合教育会議 <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th><th>テーマ</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10月16日</td><td> ・教職員の多忙化の現状と人員不足について ・2040年の未来を見据えた教育の在り方について </td></tr> </tbody> </table>	開催日	テーマ	10月16日	・教職員の多忙化の現状と人員不足について ・2040年の未来を見据えた教育の在り方について
開催日	テーマ				
10月16日	・教職員の多忙化の現状と人員不足について ・2040年の未来を見据えた教育の在り方について				
令和６年度に向けた課題と改善点（自己評価）	○総合教育会議では、2040年の未来を見据え、佐賀市の強み（自然や地域の教育力）を活かし感性を育むことについて有意義な意見交換ができた。今後も関係機関と連携・協働し、子どもたちの心身ともに健康な成長につながるような、活発な意見交換をできるようにする。 ○教育委員と市長が目指す教育の方向性は基本的に一致していると考える。教育現場の状況等を市長に十分説明すると共に、教育の方向性を具体的に示すことで、市長部局との連携・協力体制の強化を図る。 ○不登校対策の現状把握、特別支援教育の人材確保や教育改善への取り組みなど、行政と連携をとって意見交換を行ない、子どもの健やかな育ちと意欲的な学びの環境を目指していく。また、教育者の質の保証と働き方改革について、現状把握と改善点を検討していく。				

③ 事務局との連携

令和５年度の目標	学校事故が発生した場合等を含めて、報告すべき事案について適時適切に報告を受け、教育委員会と事務局とが情報を共有し、緊密に連携して教育課題に対応する。
令和５年度に取り組む改善策	教育課題への疑問点等を事務局に伝え、研修会の議題として取り上げるとともに、各教育委員が収集した情報を事務局と共有し、意見交換に努める。
令和５年度の実績	教育委員への報告基準に則り、事件・事故などについて、遅滞なく適切に報告が行われた。また、教育委員から研修議題を提案するなど、事務局と連携して対応を協議することができた。

令和6年度に向けた課題と改善点 (自己評価)	○事件・事故などについての教育委員への報告や教育情報の共有は概ね適切に行われたが、更なる連携強化に向け、平時から情報共有を徹底し、教育課題に対応する。 ○教育委員の勉強会では、取り扱う議題に応じて、担当事務局を招いて意見交換をするなどの取組を行っており、今後も勉強会や研修会を活用して、現場理解につなげていく。
---------------------------	---

④ 教育委員としての資質向上

令和5年度の目標	研修会や意見交換会、視察などに積極的に参加することで、教育行政に対する知見を深め、教育委員としての資質向上に努める。												
令和5年度に取り組む改善策	各々が社会生活上の経験、知見を深めるよう自己研鑽に励むとともに、委員間での情報共有や意見交換を通じて互いに学び合う。研修会や意見交換会等に積極的に参加し、教育行政をめぐる新たな動向を学ぶことで、自らの知見を高める。												
令和5年度の実績	オンライン開催も含め、全国規模の研修会が再開され、他地区の参加者と教育課題について意見を出し合い、情報を共有することで、教育委員としての見識を深めることができた。 <table><tr><td>区 分</td><td>令和4年度</td><td>令和5年度</td><td>増 減</td></tr><tr><td>教育委員</td><td>22人</td><td>21人</td><td>▲1人</td></tr><tr><td>教育長</td><td>15回</td><td>14回</td><td>▲1回</td></tr></table> ・市町村教育長・教育委員研究協議会 ・県教委・市教委協働会議 ・県市町教育長会連合会 ・県市町教育委員会連合会 等	区 分	令和4年度	令和5年度	増 減	教育委員	22人	21人	▲1人	教育長	15回	14回	▲1回
区 分	令和4年度	令和5年度	増 減										
教育委員	22人	21人	▲1人										
教育長	15回	14回	▲1回										
令和6年度に向けた課題と改善点 (自己評価)	○研修会や意見交換会等に積極的に参加し、県内外の教育委員との意見交換などを通じて、教育行政・教育現場に関する知見を深め、振り返りを行ない検証し、佐賀市の教育施策に取り入れるよう努める。 ○各々の社会生活や職業経験上の知見を深めることが、ひいてはレイマン・コントロールに資することになることを意識し、日々自己研鑽に励むとともに、委員同士で情報共有や意見交換をしながら学び合い、会議の質の向上に資する提議につなげる。												

教育委員会の活動状況の自己評価

自己評価	今年度自己評価 (令和5年度事業)	参考 (令和4年度事業)	参考 (令和3年度事業)
	概ね達成	概ね達成	概ね達成

【4段階評価の解説】

達 成	目標どおりの成果が上がっている。
概 ね 達 成	一定の成果は上がっているが、課題もあり、取組を改善又は強化し、成果を上げることが必要である。
やや不十分	成果が十分に上がっておらず、改善の必要がある。
不 十 分	成果がほとんど上がっておらず、見直しの必要がある。